アフリカ・ケニア最大級のスラム街「キベラ」にて日本のeスポーツ企業がプログラミング教育の提供を開始

ゲーミング英会話の運営を始め、eスポーツを通して社会問題の解決を目指すeスポーツ商社「REEV株式会社」（本社：東京都中央区、
代表取締役：渡部裕介）は、セブ島IT×英語学校「Kredo」（本社：フィリピンセブ島、
代表取締役：横田猛夫）と業務提携を締結し、2021年8月28日(土)
よりアフリカ・ケニア最大級のスラム街「キベラ」にてプログラミング教育の提供を開始しました。

・アフリカIT教育プロジェクト動画URL：

■はじめに-本プロジェクトの目的-
本プロジェクトは、eスポーツを通して世界と繋がり「世界平等教育」を実現するために始動したアフリカIT教育プロジェクトです。
プロジェクトを立案したREEV株式会社は、eスポーツに付随した「教育」「クリエイティブ」「エンターテインメント」事業を通して、世界の社会問題の解決を目的に設立されたeスポーツ商社であり、今回セブ島IT×英語学校「Kredo」との業務提携を通して、アフリカ最大級のスラム街「キベラ」へのプログラミング教育の提供が実現しました。

■なぜ日本のeスポーツ企業とアフリカのスラムが繋がったのか？
2021年5月
にREEV株式会社代表の渡部が、朝日新聞の運営するeスポーツメディア「GAMEクロス」内の記事でキベラ出身のプロゲーマービースト選手(BRIAN DIANG'A)の存在を知りました。

ビースト選手は、対戦型格闘ゲーム「モータルコンバット」の大会で賞金を稼ぎ、収入を得ているケニアで有名なeスポーツ選手ですが、アフリカ最大級のスラム街「キベラ」で生まれ育ち、現在もキベラに住み続けています。

その理由は、自身のeスポーツ活動を通して、スラムで暮らす子どもたちの将来の可能性を広げ、未来の選択肢を増やすためです。

スラムや貧困地域で育った子供たちは、犯罪に手を染めてしまうケースが多く、ビースト選手自

身も、eスポーツに出会わなければ自分も犯罪者になっていた可能性があったと語っていました。

以下朝日新聞GAMEクロスの記事内の文章を引用：https://globe.asahi.com/article/14340619

”父親はアルコール依存がひどく、家庭内暴力も日常だった。100人近くいた幼なじみの大半は成長するにつれ、麻薬売買などの犯罪に手を染めた。抗争などで命を落とし、いまも元気に暮らしているのは10人も知らない。スラムの住民というだけで、犯罪者との関連を疑われ警官に撃たれることもある。スラムの中でも強盗などはある。ディアンガも命に別条はなかったが過去3回撃たれ、3回刺されている。「eスポーツと出会っていなかったら犯罪者になっていたかもしれない。オンラインゲームに人生を救われた」と振り返る。”

■SNSを通して繋がった縁
代表の渡部は、SNSでビースト選手にコンタクトを取り、Zoomで想いを伝えました。
アフリカのスラムの状況は、自分の目の前に見えている世界ではありませんが、企業理念でもある「eスポーツを通じて世界の社会問題を解決する」ということ、eスポーツをキッカケに「教育格差をなくしたい」という想いを伝え、オンラインでのプログラミング教育の提供を提案し、本プロジェクトが始動しました。

■提供内容
WEBデザインコース：HTML/CSS/Javascript/PHP
・受講者：17歳 21歳の男女計4名
・現地サポーター：2名
※今後も受講者を募り定期開催していきます。

8月28日(土)
日本時間17:00より第一回目のレッスンが始まり、当日は初めて触れるプログラミングに頭を悩ませながらも楽しみながらレッスンを受講し、最後には受講生全員が熱心に講師に質問をしていました。

■伝えたい願い・我々の想い
eスポーツには様々な垣根や障害を越えて人と人とを繋げるパワーがあります。
今回のプロジェクトはeスポーツで直接教育を提供しているわけではありませんが、eスポーツと言う共通項がキッカケでアフリカのスラムの子供達にプログラミング教育の提供ができました。
REEV株式会社は、eスポーツを通して世界の社会問題を解決していくために、目の前の見えている世界だけを考えるのではなく、見えていない世界の問題にも目を向け、解決しようと努力し、これからも社会に貢献する活動を続けていきます。
そして、本プロジェクトを通して教育格差をなくすだけでなく、アフリカの雇用創出も目指していきます。

■eスポーツを通したアフリカとの活動
REEV株式会社のマーケティングパートナーでもあり、渡部が代表を務める一般社団法人鳥取県eスポーツ協会も今年3月にナイジェリアeスポーツ協会・アフリカeスポーツ連盟を戦略的提携を締結しています。

eスポーツを通して人種差別をなくしたいと願い、社会問題に目を向けるキッカケになりたいという想いをのせた提携です。今後ナイジェリアとも連携し、アフリカIT教育プロジェクトを進めてまいります。
・アフリカeスポーツ連盟 ・ナイジェリアeスポーツ協会との提携記事
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000070622.html

■今回提供したゲーミング英会話について
ゲーミング英会話は「eスポーツ×英語×プログラミング」教育によるグローバル人材の育成を目的に開発された、次世代eスポーツ教育サービスです。
URL：https://gaming-english.com

日本以外の国外でも私たちのサービスを利用していただき、世界中の一人でも多くの人達に教育的価値を提供していくためにこれからも信念を持って活動していきます。

■ビースト選手 - BRIAN DIANG'A について
アフリカ・ケニア最大級のスラム街「キベラ」出身プロゲーマー / ストリーマー
・名前：BRIAN "THE BEAST" DIANG'A
・生年月日；1992年3月25日 （29歳）
・プレイゲームタイトル：モータルコンバット
・東アフリカ Gaming Convention Mortal Kombat tournament（2016-2017）：2位
・東アフリカ Pro Series Gaming tournament（2018）：4位 賞金100万ケニアシリングを獲得
・SAFARICOM BLAZE GAMING（2019）：メンター
・Pro Series Gaming Junior E League（2020）：運営スペシャリスト

ケニアのゲームシーンで活躍中。CNNに取り上げられ、世界的に認知される。幼い頃から生活は厳しく、犯罪率と貧困率が非常に高いキベラのスラム街で育ち、現実逃避から始めたゲームによってプロゲーマーとなり、新しい人生を切り開くことができた経験から、地元産業の成長とキベラでのeスポーツの開発に重要な役割を果たし、現在は、大学やポリテクニックを回り、若者に自分が育った状況を踏まえてプロゲーマーになる方法や、人生で自分の夢を実現する方法について教育し指導している。

■運営会社情報
【運営会社】
会社名：REEV, Inc. | eスポーツ商社「REEV株式会社 」
本社所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座1-22-11 銀座大竹ビジデンス2F
代表者：渡部 裕介
設立：2021年6月
URL：https://reev.co.jp
ゲーミング英会話HP：https://gaming-english.com
事業内容：eスポーツによる社会問題解決事業、eスポーツ教育事業「ゲーミング英会話」運営

【Kredo 会社情報】
会社名：Kredo IT Study abroad | セブ島 IT×英語留学の「Kredo」
本社所在地：14th Floor Central Bloc Corporate
Center Tower 1, Block 10, Geonzon St.,

Cebu IT Park, Apas Cebu City
代表者：横田 猛夫
設立：2016年7月
URL：https://kredo.jp
事業内容：IT留学事業、メディア運営事業、IT人材紹介事業、IT開発事業

【関連企業 | マーケティングパートナー企業情報】
会社名：一般社団法人鳥取県eスポーツ協会
本社所在地：鳥取県鳥取市興南町45
運営eスポーツ施設：鳥取県鳥取市千代水3-40
代表者：渡部 裕介
設立：2019年10月
鳥取県eスポーツ協会URL：https://tottori-esports.com
ゲーミング英会話URL：https://gaming-english.com
事業内容：eスポーツイベント企画制作事業、eスポーツチーム「TeSA GAMING」運営、eスポーツ施設運営、地方創生事業、グローバル人材育成サービス「ゲーミング英会話」運営

【お客様からのお問い合わせ先】
REEV株式会社 広報担当
e-mail：info@reev.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com